中国贸促会专利商标事务所
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

第5号
（全111号）
2024年5月31日

—中国知的財産権—

ニュースレター



CATALOGUE

目次

知財ニュース

3 『2023年中国知的財産権保護状況』白書が発表

4 2023年の中国裁判所十大知的財産権案件と50の典型的知的財産権判例が発表

6 中国最高裁判所が知的財産権案件の法律適用に関する年度報告書（2023）抜粋を発表

8 2023年中国の著作権登録数は892万件超

AI・IoT関連情報

9 科大訊飛が初の長文、文字入れ長画像、長音声の大規模モデルをリリース

10 大湾区のスマート工場探訪7秒で1台の空調用圧縮機を組み立て

12 中国自動車分野にスマート化のブーム再来多国籍企業の現地化R&Dが加速

『2023年中国知的財産権保護状況』白書が発表

＊（タイトルをクリックするとリンクが表示されます、以下同じ）



このほど『2023年中国知的財産権保護状況』白書（以下、白書という）が発表された。白書は保護の効果、法制度の整備、審査・承認・登録、文化醸成、国際協力の五つの面から2023年の中国知的財産権保護の進捗と効果を紹介している。

保護の効果の面では、全国の裁判所は知的財産権民事一審案件46万2200件を新規に受理し、重点分野、重要段階に焦点を当て、何回もの行政法執行の特別行動を組織し、展開した。法制度の整備の面では、知的財産権関連の法制度を引き続き完備化した。年間に制定、改正された知的財産権法律・法規及び規定は約20本、制定、改正された知的財産権保護に関する司法解釈は2本、発表された知的財産権保護関連の規範文書、政策文書が約30本あり、地方の総合的な法整備が大きく進展した。審査・承認・登録の面では、知的財産権に関する審査・承認・登録の件数が全体的に増加し、2023年末時点の有効な中国特許件数は同期比18.5%増の499万600件、有効な登録商標件数は同期比8.1%増の4614万6400件、著作権の年間登録件数は同期比40.46%増の892万3900件、地理的表示製品の登録件数は累計2508件、農業分野の植物新品種権出願の受理件数は同期比27.5%増の14278件、林業や草原分野の植物新品種権出願の受理件数は1906件で、権利付与されたのは915件であった。文化醸成の面では、改正後の専利法実施細則の公布などを機に説明会を行い、『2022年中国税関知的財産権保護状況』などの関連報告書8本を発表し、諸部門が年度知的財産権保護の典型的判例を発表した。国際協力の面では、知的財産権のグローバル・ガバナンスに深く参与し、意匠関連条約や知的財産権・遺伝資源をめぐる政府間会議の関係協議プロセスを積極的に進め、『中国・欧州連合地理的表示の保護と協力協定』を誠実に実行し、中国・世界知的所有権機関の協力50周年記念の広報週間やメインイベントを実施し、欧州連合、ロシア、日本、韓国などの国（地域）の税関との法執行協力を引き続き強化している。

2023年の中国裁判所十大知的財産権案件と50の典型的知的財産権判例が発表

4月22日に発表された2023年の中国裁判所十大知的財産権案件と50の典型的知的財産権判例は、専利、商標、著作権、植物新品種、不正競争禁止と独占禁止などの知的財産権紛争をカバーし、コア技術のイノベーション、国内外の有名ブランド、デジタルエコノミー、種子産業など新時代の多くの重点分野と産業に係り、以下の法的保護の特徴を反映している。

第一、裁判所は高品質の発展というテーマを把握し、科学技術進歩の成果を厳格に保護し、新たな質の生産力の発展をサポートする。「丹玉405号」トウモロコシ植物新品種権侵害案件においては、ブランド詐欺、度重なる権利侵害、明らかに意図的な権利侵害を繰り返した企業に対して、法に基づいて懲罰的賠償制度を適用し、農業研究者の信頼を効果的に高めた。「レンチナン」技術秘密侵害案件では高品質の伝統的な薬用材料に係る技術秘密の認定と技術秘密の不法利用にともなう賠償問題が検討されており、伝統的な漢方薬の「守正創新（正しい道を守りながら革新を図る）」に積極的意義をもたらした。

第二、社会の関心に積極的に対応し、人々の合法的な権益を着実に保護する。「青少年モード」不正競争紛争案件において、青少年保護に対する社会の懸念に応え、ネットワークサービスプロバイダが未成年者を保護するためのネットワーク上の義務と社会的責任を自発的に履行するよう導いた。「基本的な葬儀サービス」取引拒否紛争案件において、葬儀業界の公営企業の支配的な市場地位濫用を法に基づいて抑制し、大衆と中小企業の利益を着実に保護した。

第三、新技術、新業態、新分野の裁判規則を模索し、新経済と新動力の発展をサポートする。今回公布された案件には、ナビゲーション電子地図情報に関する著作権保護、データ不法抽出及び転売の抑止などの新しい問題があり、裁判所は裁判規則を積極的に検討し、権益保護の境界線を明確にし、デジタルエコノミーの発展を保障、サポートした。

第四、保護の平等を強化し、市場化・法治化・国際化したビジネス環境を積極的に構築する。「シーメンス」商標権侵害及び

不正競争案件、「ミシュラン」商標権侵害案件、「ラフィット」商標権侵害及び不正競争案件において、裁判所は国内外当事者の合法的な権益を平等に保護し、ブランド詐称、フリーライドなどを厳しく取り締まり、法に基づいて外国権利者の合法的権益を保護し、知的財産権保護に対する外国投資家の懸念に適時に応えた。

第五、連携と協力を強化し、知的財産権全体の連鎖的な保護を強化し、知的財産権保護の全面化を推進する。「顔認証」特許権無効裁判において、特許無効裁判における請求項の補正範囲、補正の方法、補正の目的に関する要求を明確にし、行政法執行の規準と司法裁判の規準の一致化を促した。「長高電新」商標の悪意のある訴訟に対する司法処罰案件において、裁判所は知的財産権濫用行為を処罰したほか、当事者が知的財産権を濫用して悪意のある訴訟を提起した犯行の手掛かりを検察庁に移送し、検察庁が法に基づいて監督の職能を履行し、検察側の提案を行うよう積極的に促した。



中国最高裁判所が知的財産権案件の法律適用に関する年度報告書（2023）抜粋を発表

中国最高裁判所が4月25日、『知的財産権案件の法律適用に関する年度報告書（2023）抜粋』（以下、抜粋という）を発表した。抜粋は最高裁が2023年に裁判終了した知的財産権案件に基づいて41の法律の適用問題をまとめ、「知的財産権濫用の認定と対応」などについて明確にした。

「知的財産権濫用の認定と対応」の法律適用について、（2023）最高裁知民終235号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。知的財産権の行使は信義誠実の原則に準拠し、かつ他人の合法的権益を損なってはならない。知的財産権侵害を受けたとき、権利者は法に依り訴権を行使することができるが、訴権の行使は信義誠実の原則に準拠し、誠実に慎重にすべきである。「誘導侵害」、「罠掛け証拠収集」、「誤解を招く和解」、「故意の二重訴訟」などの形で知的財産権を濫用する権利者に対して、裁判所は効果的な措置を講じて規制を加え、情状によっては『知的財産権侵害訴訟における原告の権利濫用を理由とする被告の合理的支出賠償請求問題に関する最高人民法院の返答書』に準拠して、相手方に訴訟の合理的支出を負担するよう命じることができる。

「懲罰的賠償倍数の確定の要因」の法律適用について、（2022）最高裁民終209号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。他人の登録商標及びブランドの知名度と影響力を知りながら、その類似商標を大量に使用して同一の事業活動を行った場合、商品の出所を混同させ、他人の知名度を不正利用する主観的悪意があると認定されるべきである。権利侵害の規模が大きく、範囲が広く、権利侵害による収益が非常に高い場合、権利侵害は深刻な情状に当たると認定されなければならない。前記の主観的な悪意、深刻な権利侵害情状は懲罰的賠償倍数の確定の重要な要因として考量されなければならない。

「権利保護一括案件における合理的支出賠償請求の合理性の認定」の法律適用について、（2022）最高裁民再274、275、276、277、278号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。合法由来の抗弁が成立し、そして権利者が権利保護を一括で求める場合、裁判所は権利侵害行為の状況、権利侵害した販売者の主観的要因、権利者の合理的支出の証拠などの具体的な情状を総合的に考

量し、合法由来の抗弁制度の立法趣旨に基づいて、権利者の合理的支出賠償請求の合理性を認定すべきである。

「WeChat公式アカウント・公式ウェブサイト上の商標侵害行為の実施者の認定」の法律適用について、(2022)最高裁民終146号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。WeChat公式アカウント・公式ウェブサイトの事業者が権利侵害者であることを証明することが困難であるが、当該公式アカウント・公式ウェブサイトに宣伝された標識、商品と内容が権利侵害者を指し示すことが証明でき、且つ侵害者が当該宣伝活動の受益者である場合、裁判所はこれをもって権利侵害者が当該公式アカウント・公式ウェブサイトを介して権利侵害製品の宣伝・普及活動を実施したと認定することができる。

「挙証妨害規則下の賠償額に対する裁量」の法律適用について、(2022)最高裁民終146号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。権利侵害者が挙証妨害を行った場合、裁判所は権利者側の主張と証拠を参考にしながら賠償額を定める際に、関係証拠を包括的かつ客観的に調べ、権利侵害行為の期間、回数、権利侵害者の主観的な悪意などの要因を総合的に考量しなければならず、権利侵害者の生産規模、範囲、情状に関する自己供述を重要参考として賠償額を確定することができる。

「先使用及び一定の影響がある」ことの認定について、(2023)最高裁行申2567号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。商標権は地域的なものであり、権利範囲、保護内容、保護期間はすべてその地域的範囲によって制限される。商標が他の国や地域でのみ使用されている場合、商標法第32条に規定する「先使用及び一定の影響力がある」ことには該当しない。

「権利侵害による収益が法定の最高賠償額を上回ることの証拠の認定及び考量要素」について、(2022)最高裁民終312号案件は、判決の要旨において以下のことを明確にした。権利侵害による収益が、不正競争防止法に規定された法定最高賠償額を明らかに超えることを立証するのに十分な証拠がある場合、裁判所は企業名の知名度、権利侵害者の主観的な悪意の程度、挙証妨害の有無、権利侵害行為の詳細、権利侵害の被害者の権利保護のための合理的な支出などの要素を総合的に考量し、法定以上の賠償額を確定すべきである。



2023年中国の著作権登録数は892万件超

中国国務院新聞弁公室（State Council Information Office of the People's Republic of China）が4月24日に記者会見を開き、2023年の中国の知的財産権強国建設の進捗について紹介した。データによると、同年の中国の著作権登録件数は892万件を上回り、同期比40.46%増であった。

中央宣伝部の著作権管理局責任者の湯兆志氏は、2023年に登録された著作権のうち、作品著作権の登録件数が同期比42.3%増の643万件、コンピューターソフトウェア著作権の登録件数が同期比35.95%増の249万件で、登録件数と増加率ともに5年ぶりの最高値を更新したと紹介した。

中国新聞出版研究院の調査の結果によると、2022年の中国著作権産業の付加価値は8兆9700億元に達し、GDP全体の7.41%を占めた。1600万人以上が都市部の著作権産業に携わり、全国の都市部雇用者総数の9.58%を占めた。著作産業の商品輸出額は4639億米ドルで、中国商品輸出総額の13.03%を占め、その全体に占める割合は、長年連続して11%以上で安定している。

今後、中国著作権管理局は、関連法規を改正して著作権に関するよりよい法制度体系を構築し、各階級の法執行部門の著作権法執行業務の展開を支持し、「剣網行動（海賊版取り締まり活動）」、青少年著作権保護期間、映画館での盗撮・複製取締りなどのキャンペーンを継続的に実行し、重大案件の処理と重点産業の整理整頓に重点を置き、出処と配布ルートの両方から海賊版を取り締り、著作権保護環境を引き続き改善し、著作権登録システムの完備化、著作権集団管理の規範化、展覧会における著作権取引体制の最適化に力を入れて著作権貿易を促進する。



科大訊飛が初の長文、文字入れ長画像、長音声の大規模モデルをリリース



科大訊飛（iFLYTEK、アイフライテック）が4月26日、初の長文、文字入れ長画像、長音声大規模モデル「訊飛星火（アイフライテックスパーク）」V3.5を発表した。

紹介によると、このモデルは、さまざまな情報源からの大量のテキスト、画像・テキスト資料、会議録音などを迅速に学習できるほか、各種の業界シーンで専門的で正確な回答を提供することができる。多様な感情を備えた擬人化合成機能と「一言音声復刻による再現」機能をリリースし、AI技術がより人間的かつ感情的に表現できるようになった。また、研究開発チームは、企業の大規模モデル実装の難題を解決し、生産性向上をサポートできる訊飛星火AIプラットフォームも立ち上げた。

同社の劉慶峰社長は、長文機能の実装には情報の効率的な処理の問題を解決する必要があり、大規模モデルの応用効率と正確率の問題を解決するため、研究チームが大規模モデルに基づき長文の理解、学習、回答能力に対して重要なモデル最適化を実施して、130億パラメータの大規模モデルをリリースし、ドキュメントのアップロード解析処理、知識問答の応答時間及び文字生成などの効率を大幅に向上させたと紹介した。その性能はGPT-4 Turboの4月の長文バージョンの97%水準に達し、複数の垂直分野における知識問答タスクにおいてGPT-4 Turboを上回ったという。

科大訊飛はまた、感情表現の知覚度をさらに高め、AI音声をより鮮明でリアルにした多様な感情を備えた擬人化合成機能をリリースした。同時に、「一言音声復刻による再現」機能により、AIアシスタントの音声を一言でカスタマイズすることができ、よりパーソナライズされた体験をユーザーにもたらしている。

大湾区のスマート工場探訪
7秒で1台の空調用圧縮機を組み立て



広東省・仏山市順徳区杏壇鎮に位置するGMCC美芝科技産業パーク内で、インテリジェントマニュピレーターが空調用圧縮機の部品であるベアリングを正確に「ロード」し、組み立てラインに送っている。広大な生産作業場でソフトウェアシステムを操作しているのはわずか数名の技術者だけである。

順徳区は粤港澳大湾区（広東・香港・マカオグレーターベイエリア、Guangdong-Hong Kong-Macau Greater Bay Area）の中心に位置しており、北は広州市に接し、南は香港・マカオ両特別行政区に近く、近年は製造業のスマートトランスフォーメーションに拍車がかかっている。美芝科技産業パークの敷地面積は約27.3ヘクタールで、建築面積は約50万平方メートル、主に空調用圧縮機などの中核部品・製品を生産し、年間の生産能力は3600万台に上る見込みである。同産業パークは現在、業界最大の空調用圧縮機の生産拠点であり、世界最先端工場「ライトハウス（Lighthouse）」基準で建設されている。

美的集団・工業技術事業群空調用圧縮機製品公司スマート製造責任者の賀志良氏は取材に対し、生産の全フロー及び各段階において、同産業パークはAIビジョン技術を用いており、例えば、機械加工ロボットビジョンの「ローディング」、外観検査、デバンニング・オートフレーミングの視覚的ガイド、総組立の外

観不良検出など、多種の型番の空調用圧縮機に対応でき、検出率は99.9%以上に上がっていると紹介した。

スマート技術のサポートにより、生産性が大きく向上した。賀志良氏は、「当社の生産ペースは従来の15秒から現在7秒に短縮された。つまり、1本の生産ラインにおいて、7秒ごとに1台の空調用圧縮機の組み立てが完了していることであり、業界平均水準をはるかに超えている」と述べた。

生産から物流まで、この工場ではデジタル化とスマート化が実現されている。工場内では、AGV（自動搬送車）、無人フォークリフトなどのスマートデバイスが秩序よく稼働しているのが目につく。賀志良氏によると、同工場はスマート物流上で「一本流設計」を最大限に実現し、さまざまな自動化設備と技術のサポートで、輸送効率を向上させた。

賀氏は、「工場は、多くのロボット、AI、デジタルツインなどの技術及びデジタル化システムインテグレーションにより、従来の生産・管理モデルを変革し、生産プロセスを透明かつ制御可能にして、品質の信頼性を高め、コストをさらに最適化しており、同時に物流もよりスムーズになり製品の引き渡しスピードも大きく向上している」と述べた。

賀志良氏は、スマート工場の人員は減少したものの、人間の素質、技能に対する要求は大幅に高まっていると述べ、「現在、我々の工場はμ級の精密スマート製造レベルに達しており、全国工業4.0スマート製造モデル基地の構築に力を入れるつもりだ」と紹介した。

美芝科技産業パークは、美的集団のデジタルトランスフォーメーション探求の縮図の一つである。現在、美的集団は28の国家レベルグリーン工場、9の5G工場、9のゼロカーボン工場、5の世界最先端「ライトハウス」工場を擁している。

美的集団副総裁兼CFOの鐘錚氏は、美的は技術イノベーション、自動化、スマート化、デジタル化の手段を通じ、各プロセスの効率を絶えず向上させていると述べた。過去10年間で200億元以上をデジタル化に投入し、過去5年間で600億元近くを技術イノベーションに投入して、スマート化レベル、生産効率、意思決定の効率、経営の質を大幅に向上させている。



中国自動車分野にスマート化のブーム再来 多国籍企業の現地化R＆Dが加速

2024北京国際自動車展覧会（北京モーターショー: オート・チャイナ）が4月25日から5月4日まで開催された。今回の自動車展覧会では、大手メーカーがリリースした次世代スマートカーが注目を集めた。

統計によると、今回の北京国際自動車展覧会では、多国籍企業によるワールドプレミアカー30台を含む117台のワールドプレミアカーが展示され、新エネルギー車278台が出展された。各ブランドの出展製品を見ると、自動車メーカーは一般にスマート化を自動車業界の決勝点と見なしている。

ファーウェイは展示会で問界M9、新M7、新M5などを展示したほか、同社の自動運転における技術的優位性を示した。蔚来汽車（NIO）はバッテリー交換ステーションを展示ホールに移し、自動駐車、バッテリー交換の便利性を展示した。北京汽車、小鵬汽車（XPeng Motors）や哪吒汽車（NETA）などの自動車メーカーもスマートコックピット、自動運転、AI大規模モデルに関する応用計画を発表した。

先行優位性を得た中国ブランドに対して、国際ブランドは中国でのR&Dへの投入と現地化の推進を強化している。展覧会初日、日産（中国）と百度は共同で、AIとスマート自動車分野での戦略的協力のファジビリティスタディの研究に関する覚書に署名した。これに先立ち、フォルクスワーゲンは小鵬汽車と協力して新車種を開発すると発表した。新型車は2026年に合肥で生産開始の見込みである。ベンツも電動化とスマート化分野で中国への投資を拡大しており、同グループ内で、中国R&Dネットワークはすでにドイツ以外で最も全面的分野をカバーするR&Dチームとなっている。

自動車メーカーにサービスを提供する多国籍サプライチェーン企業も現地化を加速している。北京国際自動車展覧会期間中、グローバル科学技術メーカーであるAptiv PLCは中国本土市場のニーズに対し、次世代のフルスタック式ソフトウェア・ハードウェアプラットフォームと製品を発表し、完成車工場に全システムソリューションを提供した。このソリューションは本土のサプライチェーンを採用し、国産チップを使用し、完成車工場のコストを20%以上節約する。現在、Aptiv PLCは、中国に7のR&D・エンジニアリングセンター、22の生産拠点を設立しており、30000人余りの従業員のうち、技術担当者の割合は11%に達し、管理職もすべて現地化されている。

ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部

住　所: 〒100031　中国北京市復興門内大街158号
遠洋大厦10階
Tel: +86-10-6641-2345
Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス

住　所 : 〒100-0004　日本東京都千代田区
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区
Tel : +81-3-6262-6643
Fax : +81-3-6262-6645
Email：tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス

住　所 : 1350 Avenue of the Americas,
Suite 1710 New York, NY 10019 U.S.A.
Tel : +1-212-868-2066
Fax : +1-646-838-5151
Email : newyork@ccpit-patent.com.cn

マドリードオフィス

住　所 : Calle del Principe de vergara 13, 5°D,
28001，Madrid, Spain
Tel : +34-910-66-3553
Email : madrid@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス

住　所 : 香港湾仔港湾道一号
会展広場ビル34号09室
Tel : +852-2523-1833
Fax : +852-2523-1338
Email : hongkong@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス

住　所 : 上海市静安区威海路567号
晶采世紀大厦18階
Tel : +86-21-6288-8686
Fax : +86-21-6288-3622
Email : shanghai@ccpit-patent.com.cn

広州オフィス

住　所 : 広東省広州市天河区天河北路233号
中信広場11階1112ー1113室
Tel : +86-20-3877-0278
Fax : +86-20-3877-0297
Email : guangzhou@ccpit-patent.com.cn

深圳オフィス

住　所 : 深圳市福田区福華三路186号
国際商会センター1601
Tel : +86-755-3298-9252
Email : shenzhen@ccpit-patent.com.cn

武漢オフィス

住　所 : 湖北省武漢市洪山区関山大道473号
光谷新発展国際センターB棟5階 06-116
Tel : +86-27-8720-0400
Email : wuhan@ccpit-patent.com.cn